



くさかべ のぶみ  
日下部 伸三

埼玉県議会議員 (自民党)

第11号  
2022年4月

# のぶみ くさかべ伸三の県政レポート

## 《プロフィール》

- ・ 岡山大学医学部卒業
- ・ 日本整形外科学会指導医
- ・ 日本救急医学会専門医
- ・ 医療法人三慶会 指扇病院 副院長
- ・ 埼玉医大総合医療センター非常勤講師

新聞が書かない  
県政の病巣にメス

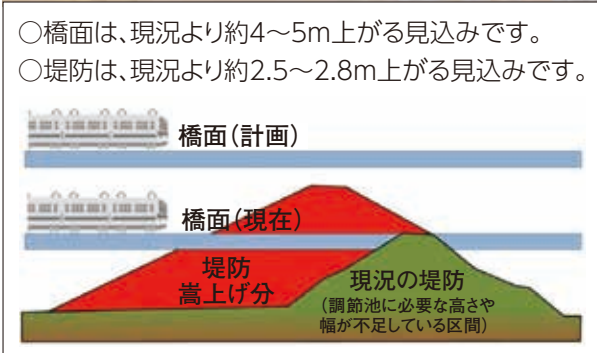
発行責任 くさかべ伸三事務所

〒331-0074 さいたま市西区宝来1295-1

E-Mail: bone@nkskb.com FAX 048-624-8539



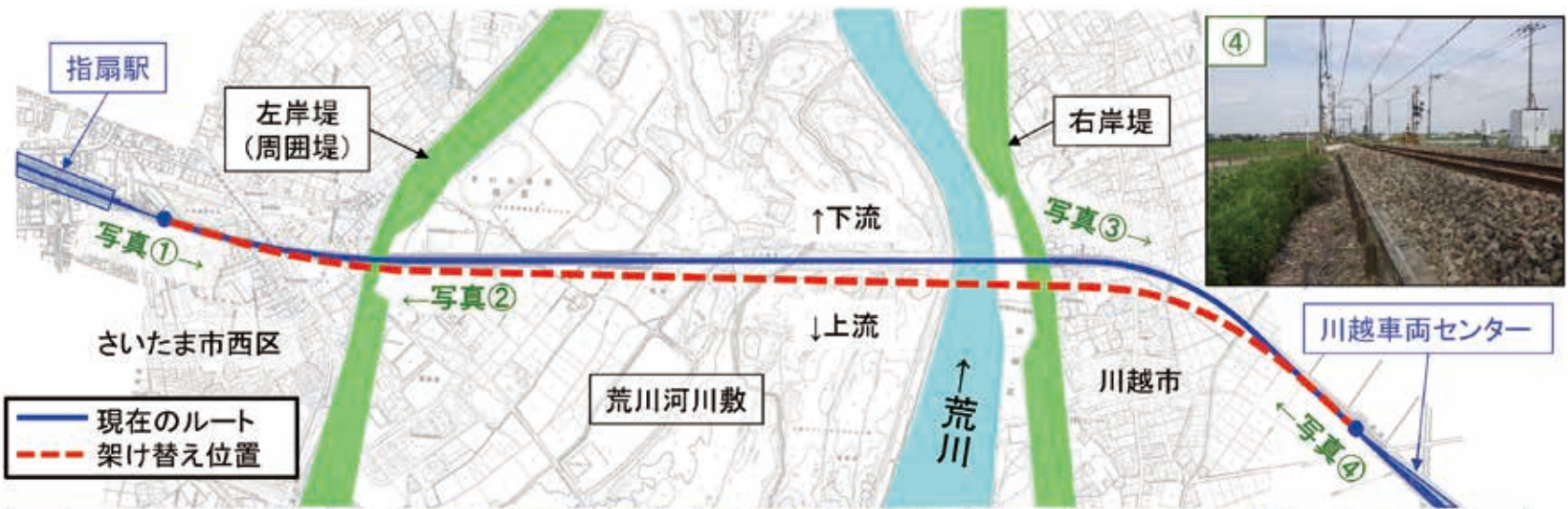
2019年10月台風19号通過後の荒川橋梁



荒川の決壊は甚大な被害を招くため、国は2018年度から2030年度の13年間で1670億円(県負担130億円含む)をかけて、堤防の嵩上げと第2・第3調節池の大規模改良工事を行っています。(左上図台風19号通過後)

この事業では、低位置にあるJR川越線からの決壊を防ぐため、鉄橋を現況より約4~5m高い位置へ架け換えることも決定しています。(左中図) 下図は令和3年7月に国交省が公表した橋梁の架け換えルートです。現況より最大位置で40m上流になります。

県議会ではこの機会に橋脚・基礎だけでも複線仕様にして置かなければ、半永久的に川越線の複線化は困難との認識から令和2年6月に埼玉県・さいたま市・川越市・JR・国土交通省の5者による協議会設置と調査費を予算計上する要望書を超党派で大野知事に提出しました。令和2年11月19日から令和4年1月28日まで計5回の協議会が開かれ、令和3年度に400万円、令和4年度も400万円の調査費が予算計上されています。



国土交通省 関東地方整備局  
荒川調節池工事事務所  
2021年7月29日発表資料より



JR川越線荒川橋梁架け換えルート決定



# JR川越線荒川桥梁の複線仕様での架け換えに関する協議会の進捗状況

## 協議会の議事録と資料は県のHPから閲覧可能

県議会からの要望で埼玉県・さいたま市・川越市・JR・国土交通省の5者によるJR川越線荒川桥梁の複線仕様での架け換えに関する協議会が設置され、令和3年度の当初予算に400万円の調査費が計上されました。(左写真)

令和2年11月19日の第1回から令和4年1月28日までに計5回の会議が開催され、県のホームページから議事録と資料が閲覧できます。



令和2年6月19日：大野知事に協議会設置と調査費予算計上の要望書を提出

## 複線仕様での架け換えの可能性

県議会では令和2年12月9日に国土省の荒川調節池工事事務所長から説明を受けた際、「架け換えは単線で周辺工事・旧桥梁の撤去費用も入れて274億円の予算だが、不足分を関係自治体が負担すれば複線仕様に出れない訳ではない事」を確認しています。

尚、JRによれば大宮駅から日進駅までは既に複線ですが、日進駅から川越駅までの複線化には桥梁架け換えの費用を除いて約1000億円かかるとの事です。

## 令和3年度の調査と協議の概要

令和3年度の調査と協議では、第1案として今回は単線で架け換え、将来の複線化時に現在線の位置に新たな単線構造の桥梁を架ける。第2案として現在の桥梁を補強・嵩上げして複線化に利用する。第3案として現在線の上流に複線構造の桥梁を架け換える。これらの3案が検討されました。

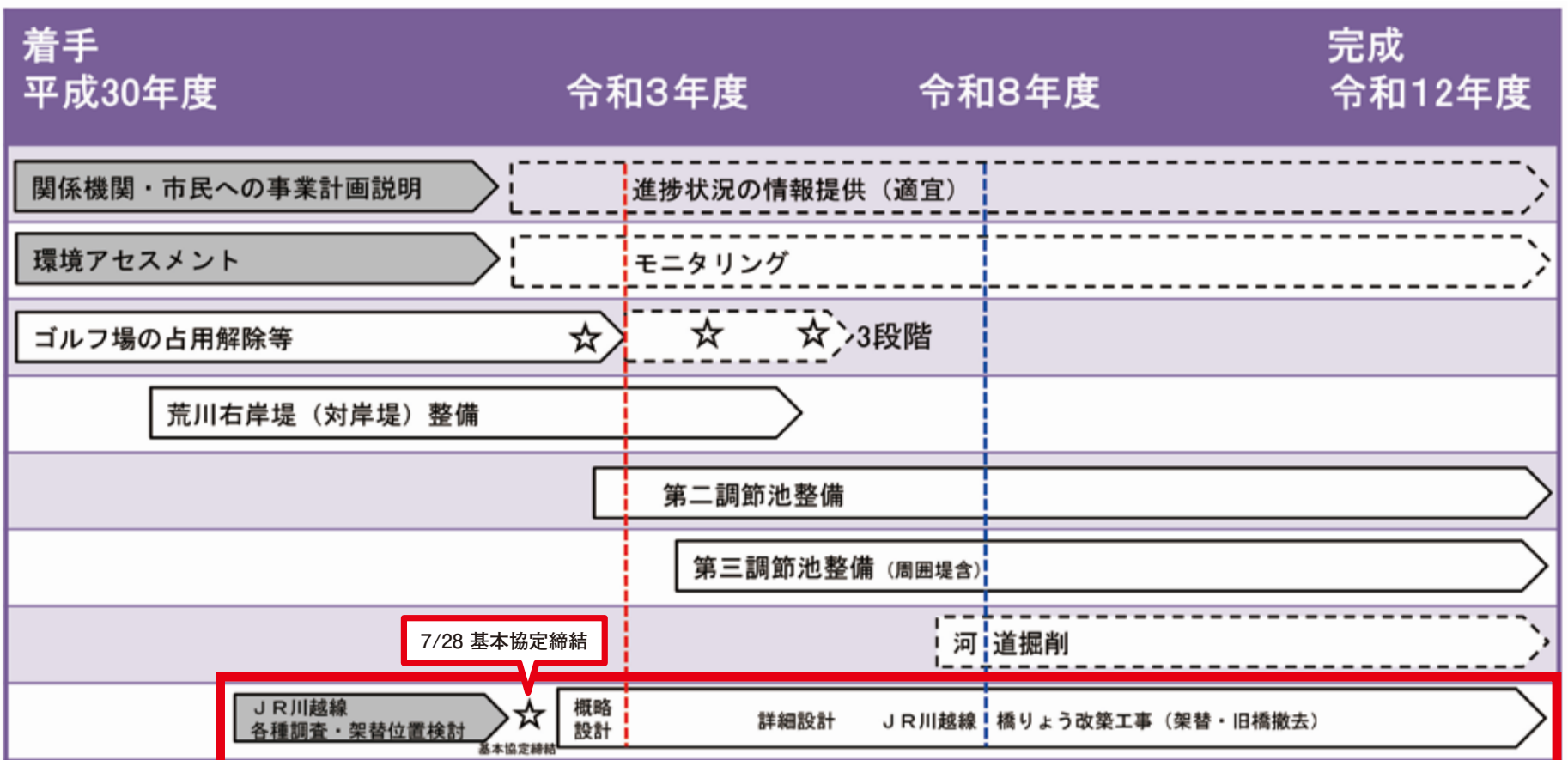
第2案は技術面・コスト面で不確かな部分が多い事、第3案は技術面・工期の問題は無いが、1.5倍の建設費と用地の追加買収が必要で、荒川第2・3調節池整備事業へ影響を与える可能性がある事を理由に、令和4年1月時点では、荒川第2・3調節池整備事業への影響が無い第1案が総合的に最も評価が高いという結果になっています。

当然第1案は2倍の建設費用が掛かりますが、協議会は少子化とWithコロナ時代を迎え、単線で架け換えたいJR・国土交通省の主導が進められ、さいたま市と川越市に比べて埼玉県の弱腰が目立ちます。

## 令和4年度の調査

前述の第3案の1.5倍のコストには軌道・架線の敷設を含んでおり、令和4年3月1日に県議会から基礎部分だけを複線仕様にした場合の費用の算出と第3案が荒川第2・3調節池整備事業に与える影響(工程の遅れ等)について調査する様に県の所管部局に申し入れました。JRと国土交通省が複線仕様での架け換えに消極的なので、埼玉県選出の国会議員の強力な後押しが欲しい所です。

荒川第2・3調節池整備事業工程(案) ※令和3年7月時点に於ける予定であり、進捗状況により変わります。



※令和4年1月現在、概略設計を実施中で令和4年度内に概略設計完了予定です。

# JR川越線荒川橋梁の複線仕様での架け換えに関する目下部の一般質問

2021年6月県議会



の複線化は無理と考えるのが県民目線では？

【知事の答弁】 県やさいたま市、川越市では沿線自治体としてどのような体として架け換えることができるのかという観点から、あらゆる可能性を検討している所である。

令和2年11月に埼玉県・さいたま市・川越市・JR・国土交通省の5者による協議会が設置され、令和3年度の当初予算に調査費が計上された事を受け、令和3年6月議会で登壇し、架け換えが決定しているJR川越線荒川橋梁の複線仕様について知事の見解を求めました。

## 知事の県民目線について

【目下部の質問】 知事は、県のホームページの就任挨拶の中で、「県民目線で県民の声を実現していく姿勢を貫いて参ります」と述べているが、国が川越線荒川橋梁を架け換えるこの千載一遇の機会に土台・基礎だけでも複線仕様にしておかなければ、永久に川越線

残さない埼玉県づくりとの整合性を考えた時に、単線での架け換えとなるのか、複線仕様で架け換えとなるのか、知事の見解を問う。

【知事の答弁】 荒川橋梁が一旦単線で架け換えられたとしても、将来の川越線の複線化の可能性について道が閉ざされる訳ではなく、誰一人取り残さないという事にはならず、誰一人取り残さない埼玉県の実現のためには、利用人口の増加やまちづくりに沿線自治体とともに努力し、諦めることなく追求することが重要と考えている。

## 単線での架け換えとなつた場合の知事の説明責任について

【目下部の質問】 第1回、第2回の協議会の議事録を読む限り、埼玉県、さいたま市、川越市の関係3自治体の中で、埼玉県の腰が一番引けていると言わざるを得ない。荒川橋梁が単線での架け換えとなつた場合、川越線・八高線沿

線の県民の夢と希望を断つ事になるが、埼玉県の腰が引けて複線仕様にできなかったことを知事が自らの言葉で説明する責任があると考えてるが知事の所見を問う。

【知事の答弁】 荒川橋梁が一旦単線架け換えられたとしても、川越線の複線化の可能性について道が閉ざされ、夢と希望を断つことにはならないと考えており、複線

## オミクロン株に関わる国への意見書決議

2022年2月県議会

3月21日に全国の蔓延防止等重点措置が解除されましたが、これまでのDATAを検証し、措置した場合としない場合で感染者数・死者数にどれだけ差が出るかというエビデンスに基づいて政策決定して欲しいものです。

令和4年3月2日に厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボードが提出した資料によると、正確な比較は困難の前提ですが、オミクロン株の2022年1月1日から2月21日までの累積死亡者数の累積陽性者数に対する比率は約0.13%。レセプトデータベースを用いた2017年9月から2020年8月の3年間の季節性インフルエンザの致死率は0.09%です。



# ウクライナ侵攻、対露抗議決議を可決

2022年  
2月県議会

埼玉県議会では本年2月24日のロシアのウクライナ侵攻に対して同月28日、軍の即時撤収と国際法の順守を求める抗議決議を全会一致で可決しました。

## ロシアのウクライナ侵攻の背景

ロシアのプーチン大統領は2014年に軍事力を介して、当時ウクライナに帰属していたクリミア半島を併合しました。今回のウクライナ侵攻ではウクライ



マキャヴェッリ  
1469年5月3日～  
1527年6月11日

## ロシアのウクライナ侵攻とマキャヴェッリ語録

今回のロシアのウクライナ侵攻の様な軍事衝突が起こる度に、日本の平和が軍事バランスで保たれている事を再認識すると同時に、イタリア、ルネサンス期の政治思想家、マキャヴェッリの洞察に驚かされます。彼は大学を出ていないにもかかわらず、その才覚を認められ、29歳でフィレンツェ共和国の外交官に抜擢されています。

代表著書に『君主論』『政略論』『戦術論』があり、浅薄な倫理や道徳を排し、ひたすら現実社会のみを直視した現実主義的な政治理論を説いています。以下に近代政治思想に大きな影響を与えた彼の言葉の一部を紹介致します。

- ◆結果さえよければ、手段は常に正当化される。  
⇒マキャヴェリズムを象徴する言葉です。
- ◆個人の間では、法律や契約書や協定が、信義を守るのに役立つ。しかし、権力者の間で信義が守られるのは、力によってのみである。  
⇒ヒトラーはミュンヘン協定を破ってポーランドに侵攻し、ロシアのP氏はジュネーブ条約もハーグ陸戦条約も無視し、米英露は核放棄したらウクライナの安全を保障するという1994年のブダペスト覚書を守っていません。
- ◆まったくもって情けない現実だが、人間と言うものは権力を持てば持つほどそれを下手にしか使えないものであり、そのことによって、ますます耐え難い存在と化するものである。  
⇒ロシアのP氏、中国のS氏、北朝鮮のK氏の事です。
- ◆誰からも制約を受けない権力の存在は、それがいかに聖人の手にゆだねられていようと、国家の利益になる事はない。なぜなら、絶対の権力とは短期間の間にどのような人でも蝕んでしまうものであり、富を含むあらゆる利権の方が権力の後を追うものだからである。  
⇒ロシアのP氏、中国のS氏、北朝鮮のK氏、この3人は死ぬまで国のトップに居座るでしょう。
- ◆次の2つは絶対に軽視してはならない。第一は、忍耐と寛容をもってすれば、人間の敵意といえども溶解できるなどと、思ってはならない。第二は、報酬と援助を与えれば、敵対関係すらも好転させ得ると思ってはならない。  
⇒日韓関係に当てはまりますね。
- ◆他者を強力にする原因をつくる者は、自滅する。  
⇒日本から中国へのODA、核弾頭をロシアに引き渡したウクライナの事ですか？
- ◆国家は全て、いかなる時代であってもいかなる政体を選択しようとも関係なく、自らを守るためには、力と思慮の双方ともを必要としてきた。  
⇒万人が善人なら、警察も鍵も軍備も必要ないでしょうが、現実の人間社会は違いますね。
- ◆国家は、軍事力なしに、存続不可能である。それどころか、最後を迎えざるを得なくなる。どこの国が今までに防衛を他人にまかせたまま、自国の安全が保たれると思ったであろうか？  
⇒日本には未来永劫、他国の軍が駐留し、その傘の下に居るのでしょうか？
- ◆自らの安全を自らの力によって守る意志を持たない場合、いかなる国家といえども、独立と平和を期待することはできない。  
⇒国防を殆ど米国に依存している日本は独立国家と言えるのでしょうか？
- ◆なぜ、人々の心に自由に生きることへの強い愛着が生まれてくるのか、という問いへの答えは簡単である。歴史上、自由を持つ国だけが、領土を拡張し経済的にも豊かになったからである。  
⇒東欧圏やソ連から独立した国々が西側陣営に入るのは自然の流れです。
- ◆弱体な国家は、常に優柔不断である。そして決断に手間取ることは、これまた常に有害である。  
⇒どこかの国の政権の事です。
- ◆いかなる種類の闘いといえども、あなた自身の弱体化につながりそうな闘いは、絶対にしてはならない。  
⇒第2次大戦に於ける米国との開戦はなんとしても避けるべきでした。
- ◆我々が常に心しておかねばならないことは、どうすればより実害が少なく済むかということである。  
⇒言論の自由と一人一票の普通選挙を守るには米国を敵に回す選択肢は日本にはありません。

ナ東部の独立とウクライナがNATO（北大西洋条約機構）米英を中心とした西側諸国の軍事同盟）に加盟しない事を要求しています。これらロシアの一連の行動の背景にはNATOの東方拡大があります。1991年のソ連の崩壊後、東欧圏に帰属してたハンガリー、ポーランド、ルーマニアを始め、ソ連から独立したバルト三国（エストニア・ラトビア・リト

ニア）もこぞってNATOに加盟しました。ウクライナのゼレンスキー大統領もNATO加盟を目指していましたが、膝元のウクライナまでがNATOに入る事はプーチン氏には喉元に合口を突き付けられる様で、容認できなかったでしょう。1996年にウクライナが非核化を完了した事に加えて、米国がバイデン政権に変わり、昨年8月にアフガニスタンの完全撤退するなど軍事バランスの変化の影響も大です。内向きになった米国は第3次世界大戦の引き金になり得るウク

ライナ問題に軍事介入しないとプーチン氏は判断したと思われる。独裁者にルールは通じない ジュネーブ条約等の国際人道法では攻撃は厳格に軍事目標に限定され、原発施設や病院への攻撃を禁じていますが、もはや独裁者プーチン氏には通じないでしょう。日本へ原爆を投下し無差別大量殺人を行った米国に非難される筋合いはないと思っっているのではないのでしょうか？因みに日本の真珠湾攻撃は軍事施設のみに限定されたものでした。